

調査結果の要約

- 1 人権全般についての意識
- 2 女性の人権についての意識
- 3 子どもの人権についての意識
- 4 高齢者の人権についての意識
- 5 障がい者の人権についての意識
- 6 同和問題についての意識
- 7 アイヌの人々の人権についての意識
- 8 外国人の人権についての意識
- 9 感染症患者等（エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病元患者）
の人権についての意識
- 10 刑を終えて出所した人の人権についての意識
- 11 犯罪被害者とその家族の人権についての意識
- 12 インターネットによる人権侵害についての意識
- 13 ホームレスの人権についての意識
- 14 性的指向の異なる人の人権についての意識
- 15 性同一性障がい者の人権についての意識
- 16 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権
についての意識
- 17 人身取引についての意識
- 18 人権啓発活動についての考え

II. 調査内容の要約

1 人権全般についての意識

多岐にわたる人権問題の中で、関心のある人権問題について3つ尋ねたところ、上位から

- 「高齢者の人権問題」(39.3%)
- 「障がい者の人権問題」(29.7%)
- 「子どもの人権問題」(27.5%)

の順となっています。これを職業別に見ると「高齢者の人権問題」については、「無職」(53.0%)が最も多く、一方で「学生」(21.4%)は低くなっています。

次に、土岐市の人権環境について尋ねたところ、整備されていると思うという回答は、上位から

- 「子ども」(29.8%)
- 「高齢者」(24.9%)
- 「女性」(22.1%)
- 「障がい者」(19.0%)

の順となっていますが、「高齢者」(26.1%)、「障がい者」(22.8%)では整備されていないという回答が整備されているという回答を上回っています。

次に、人権侵害の経験について尋ねたところ、「大いに感じたことがある」(7.2%)、「少し感じたことがある」(24.6%)を合わせた回答は3割強ありました。続いて侵害された経験を持つ人にその内容を尋ねると、上位から

- 「生活圏域（家庭・地域）でのプライバシー侵害」(32.1%)
- 「職場における採用・昇格時の差別待遇」(25.6%)
- 「名誉、信頼等の毀損、侮辱」(24.4%)

の順となっています。家族構成別に見ると、「ひとり暮らし」の方に「生活圏域（家庭・地域）でのプライバシー侵害」(46.4%)という回答が非常に多くなっている点が特徴的です。

次に、人権侵害への対応について尋ねたところ、上位から

- 「家族に相談する」(57.2%)
- 「友人に相談する」(32.9%)
- 「警察に相談する」(32.3%)

の順となっています。性別で見ると女性が「家族に相談する」(70.2%)という回答が非常に多くなっている点が特徴的です。また、年齢別に見ると「友人に相談する」という回答は若年齢層ほど多く、加齢と共に減少傾向にあります。

2 女性の人権についての意識

女性の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、「家事・育児や介護などを、男女が共同で担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと」(34.0%)が最も多くなっています。

次に、女性の人権尊重に必要なことについて尋ねたところ、「女性が家庭生活と職業の両立ができるよう環境の整備を図る」(45.0%)が最も多くなっています。仕事と家庭生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)は、男女共同参画計画・後期次世代育成支援行動計画でも大きなテーマとしてクローズアップされており、家庭でも職場でも男女が共同で担うことができる社会の仕組みが求められていると言えます。

次に、土岐市が定めた「土岐市男女共同参画プラン」の認知度について尋ねたところ、「知らない」(75.9%)が圧倒的に多く、特に「20歳代」「30歳代」は8割以上の方が「知らない」と回答しています。

3 子どもの人権についての意識

子どもの人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、「仲間はずれ」や「無視」、容姿に関する悪口等、身体への直接攻撃や相手がいやがることをしたり、させたりするなどのいじめを行うこと」(53.3%)が最も多くなっています。

次に、子どもの人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、「地域の人々が他人の子どもに関心をもって接する」(45.5%)が最も多くなっています。

4 高齢者の人権についての意識

高齢者の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、ほぼ同率で上位から

「悪徳商法などの被害が多いこと」(26.1%)

「経済的に自立が困難なこと」(26.0%)

の順となっています。また、「経済的に自立が困難なこと」について、家族構成から見ると「ひとり暮らし」の方がそれ以外の世帯よりも問題視する傾向が若干強くなっています。

次に、高齢者の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、2位以下を引き離して「年金・住宅・福祉サービスの充実によって、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」(44.0%)が最も多くなっています。これを町別で見ると、「曾木町」では「年金・住宅・福祉サービスの充実によって、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」(75.0%)が圧倒的に多くなっています。

5 障がい者の人権についての意識

障がい者の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

- 「就労の機会が少ないこと」(25.7%)
- 「障がいのある人とない人との交流が少ないこと」(24.9%)
- 「差別的な言動を受けること」(24.5%)
- 「障がい者を支援する福祉サービス等が十分でないこと」(22.1%)
- 「職場や学校で差別や不利な扱いを受けること」(21.4%)

の順となっていますが、ほぼ同じ割合の回答となっています。

次に、障がい者の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、上位から

- 「障がい者が必要とする福祉サービス等を拡充する」(25.8%)
- 「学校教育・生涯学習を通じて障がい者の人権を守るための教育を行う」(24.8%)
- 「障がい者のための相談・支援体制を充実する」(24.0%)
- 「障がい者の就労機会を確保する」(22.8%)

の順となっていますが、ほぼ同じ割合の回答となっています。また、年齢層で見ると、「障がいのある人とない人との交流を促進する」と「障がい者が自立して生活しやすい住宅を整備する」という回答では、若年齢層ほど多くなる傾向があります。

6 同和問題についての意識

同和問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

- 「同和問題についての理解や認識が十分でないこと」(31.8%)
- 「同和問題のことを知らない」(27.7%)

の順となっています。

次に、同和問題の解決に必要なことについて尋ねたところ、上位から

- 「わからない」(33.5%)
- 「学校教育・生涯学習を通じて同和教育を行う」(22.9%)
- 「同和問題について特に触れなければ、自然となくなる」(18.0%)

の順となっています。「同和問題について特に触れなければ、自然となくなる」という回答について年齢別に見ると、高年齢ほど多くなっている点が特徴的です。

7 アイヌの人々の人権についての意識

アイヌの人々の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「わからない」(40.1%)

「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」(35.0%)

の順となっています。「アイヌの人々についての理解や認識が十分でないこと」について年齢層で見ると、「20歳代」「30歳代」「50歳代」で4割を超えています。

8 外国人の人権についての意識

外国人の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」(41.1%)

「外国人についての理解や認識が十分でないこと」(31.2%)

の順となっています。

次に、外国人の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、上位から

「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深めるため、交流イベント開催等の機会を提供する」(28.8%)

「外国人のための相談・支援体制を充実する」(28.3%)

の順となっています。

9 感染症患者等（エイズ患者、HIV感染者、ハンセン病元患者） の人権についての意識

感染症患者等の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「感染症患者等についての理解や認識が十分でないこと」(46.3%)

「感染症患者であるというだけで世間から好奇または偏見の目で見られること」(40.4%)

の順となっています。

次に、感染症患者等の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、上位から

「学校教育・生涯学習を通じて感染症に対する理解や認識を深める教育を行う」
(46.0%)

「感染症患者等のための相談・支援体制を充実する」(31.6%)

「感染症患者等が自立して生活するための生活支援や治療費援助等を行う」(30.7%)

の順となっています。「学校教育・生涯学習を通じて感染症に対する理解や認識を深める教育を行う」について、年齢層で見ると若年齢層ほど多くなる傾向があります。

10 刑を終えて出所した人の人権についての意識

刑を終えて出所した人の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、上位から

「刑を終えて出所した人の就労機会を確保する」(44.6%)

「刑を終えて出所した人のための相談・支援体制を充実する」(40.3%)

の順となっています。また、「刑を終えて出所した人のための相談・支援体制を充実する」について年齢層で見ると、全体的にばらつきが見られ、「40歳代」「50歳代」「60歳代」では4割を超えているのに対し、「20歳代」では3割弱となっています。

11 犯罪被害者とその家族の人権についての意識

犯罪被害者とその家族の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(45.4%)

「事件のことに関して、周囲にうわさ話をされること」(33.5%)

の順となっています。これらの回答について、家族構成で見ると「二世帯世帯」「三世帯世帯」の方が増加傾向にあると言えます。

次に、犯罪被害者とその家族の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、上位から

「犯罪被害者とその家族のプライバシーに配慮した報道や取材を行う」(39.3%)

「犯罪被害者とその家族のための相談・支援体制を充実する」(32.0%)

の順となっています。「犯罪被害者とその家族のプライバシーに配慮した報道や取材を行う」については、若年齢層ほど回答が多くなっています。

12 インターネットによる人権侵害についての意識

インターネットによる人権侵害について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの人権を侵害する情報を掲載すること」(44.8%)

「個人情報などが流出していること」(37.5%)

「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(35.0%)

の順となっています。また、年齢層で見ると、「70歳以上」など高年齢層ほど「わからない」という回答が多くなっています。

次に、インターネットによる人権侵害の解決に必要なことについて尋ねたところ、上位から

「違法な情報発信者に対する監視を強化する」(40.2%)

「人権侵害が明らかになった場合は、プロバイダ・掲示板管理者に対し情報の停止・削除を求める」(39.1%)

の順となっています。また、職業別に見ると、「学生」では「違法な情報発信者に対する監視を強化する」と「企業等が、個人情報が流出しないように適切な安全対策を講じていく」の回答が多くなっています。

13 ホームレスの人権についての意識

ホームレスの人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」(50.7%)

「ホームレスに対する誤解や偏見があること」(22.4%)

の順となっています。また、「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」について世帯別に見ると、「ひとり暮らし」(60.0%)が最も多くなっています。

次に、ホームレスの方々への人権侵害の解決に必要なことについて尋ねたところ、上位から

「就職支援（職業訓練等）を行うなど、就職機会を確保する」(43.0%)

「住まいを確保するなど自立して生活しやすい環境を整備する」(31.3%)

「ホームレスのための相談・支援体制を充実する」(31.2%)

の順となっています。年齢層で見ると、「ホームレスのための相談・支援体制を充実する」という回答は高年齢層ほど多くなっていますが、「就職支援（職業訓練等）を行うなど、就職機会を確保する」という回答は逆に若年齢層の方が多くなっています。

14 性的指向の異なる人の人権についての意識

性的指向の異なる人の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「性的指向の異なる人に対する社会的理解度が低いため、世間から誤解または偏見の目で見られること」(36.4%)

「わからない」(29.7%)

の順となっています。「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかす対象となること」や「性的指向の異なる人に対する社会的理解度が低いため、世間から誤解または偏見の目で見られること」について年齢層で見ると、若年齢層ほどこれらの回答が多くなっています。

15 性同一性障がい者の人権についての意識

性同一性障がい者の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解または偏見の目で見られること」(43.4%)

「わからない」(27.1%)

の順となっています。年齢層で見ると、「性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解または偏見の目で見られること」や「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、蔑称で呼ばれるなど冷やかす対象となること」という回答は、若年齢層ほど多くなっており、「わからない」という回答は、高年齢層ほど多くなっています。

16 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権についての意識

北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「北朝鮮による日本人をはじめとする他国籍人の拉致そのもの」(55.9%)

「北朝鮮拉致問題における日本政府の取り組み」(36.7%)

「北朝鮮拉致問題に対する国際的関心の低さ」(35.7%)

の順となっています。また、北朝鮮による日本人をはじめとする他国籍人の拉致そのものについて年齢層で見ると、「20歳代」から「50歳代」までは6割前後を占め、「60歳代」でも5割半ばとなっていますが、「70歳代」では4割強となっています。

17 人身取引についての意識

人身取引の人権問題について特に問題だと思うことについて尋ねたところ、上位から

「女性や子どもなど弱い立場の人が被害に遭うこと」(33.0%)

「児童ポルノや買春を行うなどのモラルの低下」(29.6%)

の順となっています。性別で見ると、「女性や子どもなど弱い立場の人が被害に遭うこと」や「児童ポルノや買春を行うなどのモラルの低下」という回答では女性の方が多く、「外国人研修制度の名の下に、一部に不当に安い賃金で強制的に働かされる労働環境があること」では男性の方が多くなっています。また、年齢層で見ると全体的にばらつきが見られ、「女性や子どもなど弱い立場の人が被害に遭うこと」では若年齢層ほど多くなっているのに対し、「人身取引を厳格に罰する法制度が十分整備されていないこと」では高年齢層が多くなっています。

次に、人身取引防止のために必要なことについて尋ねたところ、上位から

「人身取引を行う犯罪集団の取り締まりを強化する」(53.8%)

「人身取引に関する罰則強化など、法制度を整備する」(34.9%)

の順となっています。また、年齢層で見ると、「20歳代」から「60歳代」まででは法的な取り締まりを求める回答が他の回答より多くなっていますが、「70歳代」では少なくなっています。

18 人権啓発活動についての考え

人権意識を高める方法について尋ねたところ、上位から

「学校での教育」(57.7%)

「行政による啓発活動」(49.8%)

「家庭や地域での教育」(43.2%)

の順となっています。年齢層で見ると、「学校での教育」という回答は、若年齢層ほど多く、逆に「行政による啓発活動」は高年齢層の方が多くなっています。職業別で見ると、サンプル数は少ないものの、「学生」では上位から

「学校での教育」(92.9%)

「家庭や地域での教育」(57.1%)

「職場での啓発活動」(42.9%)

の順となっています。町別で見ると、「土岐津」「下石」「妻木」「駄知」「肥田」「泉」では「学校での教育」という回答が、「鶴里」「曾木」では「家庭や地域での教育」が最も多くなっています。

次に、人権教育・人権啓発の方法について尋ねたところ、上位から

- 「学校・職場・地域など単位での研修会の開催」(31.1%)
- 「『広報とき』やホームページの活用」(21.6%)

の順となっています。年齢層で見ると、「『広報とき』やホームページの活用」は高年齢層の方が多く、逆に「学校・職場・地域など単位での研修会の開催」という回答は若年齢層の方が多くなっています。職業別に見ると、「『広報とき』やホームページの活用」は「パート・アルバイト（内職）」「無職（専業主婦・主夫）」に多く、「学校・職場・地域など単位での研修会の開催」では「会社員」「学生」で多くなっています。

次に、人権問題に関する活動への参加状況について尋ねたところ、上位から

- 「関心はあるが、参加したことはない」(44.2%)
- 「関心がないので、参加したことはない」(24.1%)

の順となっています。参加したことがないという回答が多数を占めていますが、「関心はあるが、参加したことはない」という回答は、高年齢層ほど多く、「関心がないので、参加したことはない」という回答は、若年齢層の方が多くなっています。続いて参加したことがない人に限定して、人権問題に関する活動への参加意向について尋ねたところ、上位から

- 「わからない」(33.2%)
- 「自分の意思で時々は参加したい」(23.1%)

の順となっています。

次に、土岐市における人権問題に関する活動の認知度について尋ねたところ、挙げられている「人権相談」「人権擁護委員」「人権擁護に関するチラシ配布」「人権擁護に関する広報への記事掲載」「人権推進校事業」「人権同和講演会」「「ひびきあいの日」の実施」のいずれについても、「知らない」という回答が最も多くなっています。年齢層で見ると、「20歳代」「30歳代」など若年齢層ほど、「知らない」と回答しています。

